

苫小牧市広報紙作成委託業務
審査要領及び評価基準

1 審査

(1) 選定委員会の設置

ヒアリング、企画提案書及び提案価格の評価は、苫小牧市広報紙作成委託業務業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設置して行う。

(2) 審査の流れ

審査は、以下の手順で行う。

提案者が4者以上あった場合には、一次評価（書類審査）の結果に基づき、二次評価（ヒアリング）を実施する3者を選定することができるものとする。この場合、一次評価（書類審査）の実施後、速やかにすべての提案者に対し、評価結果を通知する。なお、提案者が3者以下の場合は二次評価のみ実施する。

審査手順	実施者	審査内容
1. 参加資格審査	事務局	参加資格の有無を確認
2. 一次評価（書類審査）	選定委員会	提案書を基に審査（採点）
3. 二次評価（ヒアリング審査）	選定委員会	提案内容の事業者プレゼンテーション及び質疑応答（採点）
4. 採点結果の集計	事務局	プレゼンテーション審査の採点結果を集計
5. 受託候補者の特定	選定委員会	採点結果

2 一次評価（書類審査）について

選定委員7名の採点結果の合計（30点×7名＝210点満点）で審査を行う。

評価項目	評価内容	配点
1. 会社概要 （所在地・従業員数、事業内容等）	・ 会社の規模や事業内容から、業務の実施が可能か。	5
2. 過去の業務実績	・ 同規模の受託実績を有しているか。	5
3. 業務を実施する運営体制	・ 責任体制が明確になっているか。 ・ 従業員数の規模や組織体制から、本事業の実施に対し十分な人員を確保することが可能か。	5
4. 環境に対する取組み	・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組みを行っているか。	5
5. 提案書の記載内容	・ 「提案書作成要領」に定める提案項目が漏れなく記載されているか。 ・ 苫小牧市への提案として適切な内容となっているか。 ・ 創意工夫のある魅力的な提案内容か。	10
合計		30

3 二次評価（ヒアリング）の実施

ア ヒアリングは、令和8年11月26日（木）に、苫小牧市役所にて行うものとするが、開始時間及び実施場所は別途通知する。

イ ヒアリングは、1者ずつの呼び込み方式とし、1者の持ち時間は40分以内とする。

（提案説明20分、質疑応答20分を予定）

ウ ヒアリングは、一般非公開とする。

エ ヒアリングの内容は、提出のあった提案内容に基づくものとする。なお、資料の追加提出は認めない。

オ ヒアリングにおいては、企画提案書では説明が難しい点やアピールしたい点について行うこと。この説明においては、プロジェクター及びスクリーンを使用することができる。

また、プロジェクター、スクリーン、パソコン及びマイクスピーカーは当市で用意可能だが、その際はあらかじめ担当部署に連絡すること。その他機材については提案者が用意すること。

カ ヒアリングの説明者は補助者を含めて3名までとし、原則対面による。オンラインによる場合の提案者側の通信方法については、提案者の責任の範囲とする。

キ 欠席をした場合は、企画提案書の審査、評価及び選定から除外する。

ク 選定委員会の委員が、評価採点を行う。

4 結果通知

苫小牧市広報紙作成委託業務に関する公募型プロポーザル実施要領「15 結果の通知・公表」のとおり

二次評価（ヒアリング）評価基準

(1) 企業理念【5点】

市と市民との双方向のコミュニケーションにつなげることを目的とする行政広報紙の考え方に沿ったものであるか。

(2) 業務実績【5点】

これまでの業務実績を実際にどのように、広報とまこまいに反映させるのか示され、また効果が期待できるものであるか。

(3) 人員体制【5点】

特に、デザイナーやプランナーなどの、紙面構成に携わる者が十分に配置されているか。

(4) 環境に対する取り組み【5点】

2050年カーボンニュートラル実現に向け、どのような取り組みをしているか。また、広報とまこまいとの関連性があるか。

(5) ページごとのデザイン・レイアウト【60点】

ア 表紙

(ア) 苫小牧市の広報紙であるとすぐに判り、手にとってもらえるようなインパクトがあるか。

(イ) 文字の大きさ、フォントなどは適正であるか。

イ 特集Ⅰ、特集Ⅱ

- (ア) 幅広い年齢層が市政に対する理解と共感ができるデザインであるか。
- (イ) 文字の大きさ・フォントや余白、写真・イラストの配置などは適正で効果的かどうか。

ウ 特集Ⅲ

- (ア) 苫小牧市の地域資源の強みを的確に分析・把握した紙面になっているか。
- (イ) 幅広い年齢層が市政に対する理解と共感ができるデザインであるか。
- (ウ) 文字の大きさ・フォントや余白、写真・イラストの配置などは適正で効果的かどうか。

エ カルチャーガイド、おでかけガイド、健康ガイド

- (ア) 各コーナーのテーマを理解したうえで、他の月の記事にも対応できる、見やすく汎用的な構成・レイアウトになっているか。

オ 市からのお知らせ

- (ア) 文字が多いなかでも、見やすさが工夫されており、かつ他の月の記事にも対応できる、汎用的なデザイン・レイアウトになっているか。

カ 市政トピックス

- (ア) 幅広い年齢層が市政に対する理解と共感ができるデザインであるか。
- (イ) 文字の大きさ・フォントや余白、写真・イラストの配置などは適正で効果的かどうか。

キ 重要施策に関する内容、とまこまい日記、みんなの広場

- (ア) 各コーナーの配置がバランス良く組まれ、視覚的に人物や行事などの魅力を引き出しているか。

(6) 全体のデザイン・レイアウト【10点】

全体を通して、文字間・行間、文字のフォント・サイズ、色合いなどが見やすいものであるか。

(7) 付帯提案【5点】

付帯提案の内容が充実しており、効果が期待できるものであるか。また、広報ととまこまいとの関連性があるか。

(8) コスト【5点】

3年間の委託費用（令和9年3月～令和12年2月）の参考見積を評価